

# 令和 5 年度事業報告書

公益財団法人全国友の会振興財団

## 第1 友の会館の設置、管理、運営事業

全国各地に友の会館を設置し、管理、運営を行い友の会が公益活動を行うために必要な拠点として友の会館を提供し、その活動強化と地域への貢献をはかる。

### 1. 友の会館耐震診断のための調査を行う

耐震診断が必要な友の会館ごとに対応し相談を重ねた。

### 2. 友の会館耐震診断 相模、岐阜、姫路

友の会館改修工事 神戸、千歳、長野、小山、久留米

## 第2 全国友の会が行う活動に対する援助・助成事業

助成金 1,500 万円

全国友の会は、家庭生活の健全な発達に力をつくし、社会の文化向上に寄与することを目的として、生活研究を行い、それをもって周囲に働きかけた。

以下の全国友の会活動に対し援助、助成を行った。

### (1) 全国友の会大会

テーマ 「婦人之友創刊 120 年を喜び

平和を願い 希望をもって 100 年に向かう」

令和 4 年度の全国各地の実践の報告と令和 5 年度全国友の会の諸活動の協議を行い友の会の活動の原動力を高め刺激し合って今後の社会への働きに繋げていく。

開催日 令和 5 年 5 月 17 日 自由学園・ハイブリッド 出席 1,148 名

5 月 18 日 日本教育会館・ハイブリッド 出席 1,270 名

### (2) 生活研究会

次に掲げる各種活動の内容向上のための研究と実践

#### 1. 子どもへの活動助成

社会情勢を踏まえて未就学児と小学生、その家庭の健全な成長を願い、社会の子どもへの活動を助成した。

\*各地友の会が自主的に就学前の子どもと小学生、その親に対して生活講習会、早寝早起き朝ごはん全国協議会推進会員として普及、親と子の集い、講演会などを全国規模で対面またはオンラインで開催した。

\*「幼児生活団そしてこれから」展覧会

開催日 令和 5 年 7 月 27 日、28 日、29 日 自由学園明日館講堂 全国友の会館  
数年にわたる幼児の生活研究を基に幼児生活団が提案され、1939 年幼児生活団が設立された。以来 80 余年、友の会幼児生活団は各地に広がり全国 32 か所に、卒業生は 24,000 人以上となった。2022 年春に友の会幼児生活団はその役目を終えたが、その教育理念と実践をもってますます時世を捉えて活発に社会に働きかけることを願って 3 日間の展覧会を開催した。

入場者は大人・子どもを含め1日目は534人、2日目は259人、3日目は117人が来場。28日、29日に行った全国生活研究会出席の会員も多数参加し、今後の各地の活動への更なる広がりにつながっていくことを願う。

2. SDGsを目指す生活合理化啓蒙運動として下記の研究会を行った。

\*全国生活研究会

テーマ：「平和の根を培いましょうー日々の生活から社会をよきものにー」

開催日 令和5年7月28日、29日 自由学園明日館講堂 ハイブリッド開催

7月28日 出席 920名 (ハイブリッド・海外含む)

7月29日 出席 1,004名 (ハイブリッド・海外含む)

### (3) 全国家計調査

全国友の会の行う家計調査7,553人が提出した。この調査のまとめをもって全国各地で開催する家事家計講習会などの資料としても活用した。

### (4) 機関紙「友の新聞」の発行

友の会の活動の報告を年10回発行、会員や関連団体他に配布。

活動の様子や紙面の内容から得た力を一人ひとりが友の会の活動に活かし、社会へ働きかけている。

### (5) 資料の整備、情報公開

友の会関連の資料、図書、史料のアーカイブ化を続け、情報公開に役立てている。資料室の整備を行った。

### (6) 友の会館耐震診断

社会への働きかけの拠点である各地友の会館の安全性から新耐震基準以前の1981年以前に竣工した建物に対し耐震診断を受けるように2019年より取り組んでいる。

姫路、広島、佐賀の友の会館の耐震診断の費用の一部に使った。

## 第3 友の会の行う家事家計講習会に対する助成

助成金 774,889円

全国一斉に開催される家事家計講習会会場費とオンライン開催のための助成を行った。会場費の申請が増え、開催方法や内容を工夫しながら多くの方に家計簿のある生活のよさを広めた。会場開催は延べ89回、会員外の参加3,038人。オンライン開催は友の会延べ18回、会員外参加146人。財団に申請のあった友の会に会場費311,313円とオンライン費用23,576円を助成した。

また、家事家計講習会の宣伝のためにInstagram広告で不特定多数の方に全国各地の家計家計講習会の開催を知らせた。2023年10月11月分のInstagram広告料440,000円を助成した。

## 第4 社会福祉援助、災害支援

助成金 400万円

社会福祉	アジア学院	50万円
	志染愛真ホーム	50万円
	日本心身障害児協会	50万円
災害援助	ウクライナ学生奨学金	50万円
	能登半島地震支援金 穴水町へ	100万円
	能登半島地震支援金 能登町へ	100万円

## 第5 東日本大震災復興支援の今後に向けて

コロナ以前までは認定 NPO 法人アースマンシップが行う福島の子供たちが奥多摩の自然の中でのおもいっきり遊ぶキャンプを助成してきた。アースマンシップの活動が福島に限定せず広く子供たちへの働きかける活動に移行していくことになったため、別の支援も考えてきたが今年度の支出はなかった。

## 第6 維持会員の異動状況

	期首	期末	増減
維持会員	13,831 人	13,192 人	-639 人